

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第14号 令和2年7月13日(月)
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：56名
文責：(校長) 河地浩太郎

大雨への備えを ～「御船町総合防災ガイドブック」を活用しよう～

先々週の土曜日から、日本各地(特に九州)で予想もしない豪雨が発生しています。特に、県内の人吉・球磨、芦北地方では、多数の方が犠牲になられたり、多くの家屋・道路・線路などが倒壊・流出・寸断したりしています。学校が休校になっているところも多いようです。やっと学校が再開できたのに、と思わずにはいられません。この長く降る雨は、もうしばらくは続きそうです。学校もそうですが、ご家庭でも町の防災マップ(右写真H30.4作成)を活用して備えていきたいものです。



被災地へ思いを馳せる(他者意識を育む)

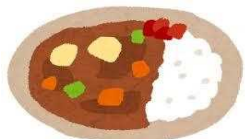
右の作文は、四年生が国語で学習した「おれの手紙」の発展的なものとして、今回の災害の被災地の方へ書いた励ましのメッセージです。これを読むと、その思いがよく伝わります。

滝尾小は、平成28年熊本地震が発生した後、一年近く学校に帰れませんでした。そして、その間、日本各地から支援をしていただきました。

今度は、滝尾小から被災されている方々お返しをする番ではないかと思います。今週、みんなで励ましのメッセージを作成していきます。

青井阿蘇神社のみなさんへ
すか。今、大雨が降り続いているので、
球磨川がはんぱんしたところ、
を阿蘇神社のみなさんへ
青井阿蘇神社のみなさんへ
行くと、阿蘇神社のみなさんへ
と、阿蘇神社のみなさんへ
ドビを、阿蘇神社のみなさんへ
クレ、阿蘇神社のみなさんへ
いどえやとお。阿蘇神社のみなさんへ
うんし、手わ。阿蘇神社のみなさんへ
かしてで伝た。阿蘇神社のみなさんへ
安ていきいし。阿蘇神社のみなさんへ
全いまなには。阿蘇神社のみなさんへ
にするくな今。阿蘇神社のみなさんへ
作の。てる小。阿蘇神社のみなさんへ
業でわ、こ学。阿蘇神社のみなさんへ
を、たとと四。阿蘇神社のみなさんへ
しみしてを年。阿蘇神社のみなさんへ
てなはもし生。阿蘇神社のみなさんへ
くさ。もたで。阿蘇神社のみなさんへ
だんおやいす。阿蘇神社のみなさんへ
さもうもけ。阿蘇神社のみなさんへ

ありがとうございます～馬肉・牛肉～



7月1日(水)の給食では、町内の馬肉業者及び御船ライオンズクラブさんからのご厚意でいただいた「**馬肉を使ったカレー**」がありました。

また、8日(水)は、県産の牛肉(サーロイン)を使った「**ステーキ**」でした。コロナウィルス感染防止で頑張っている子どもたちを応援しようという趣旨です。支援に感謝してがんばっていきます。



【ステーキの給食】

シリーズ滝尾の自然②「貝の化石」



左の写真は、昨年、2年生が運動場北側の水路の近くで発見した貝の化石です。町の恐竜博物館で見ただいたら、「セリシウム」の化石ではという話でした。この貝がどんなところに住んでいたかは調べないといわかりませんが、おそろく今の環境とはだいぶ違っていたのではないかと推測されます。

人権旬間(7/6～17)

先週の月曜日から10日間、校内の人権旬間を設定しています。取組の目的は右の通りです。「人権」は、私たちすべての国民に保障されているもので、何人もこれを侵害したり、人を差別したりすることはできません。しかし、現実には、部落差別、障がい者差別、水俣病やハンセン病元患者さんなどへの差別が現存しています。また、近年は、インターネットによる誹謗中傷も増加の傾向にあります。人権学習を通して、差別を「しない・させない・許さない」力をつけていきます。

〔人権教育の目的〕

人権教育の実践をすべての教育活動で日常的に進めていく中で、一つの節目として部落問題学習や人権集会に集中的に取り組み児童・職員それぞれの人権感覚を高める。

〔各学年の学習教材名〕

- 1年「さるとかに」
- 2年「はらがたつ」
- 3・4年「もっとみんなとなかよくしたいです」
- 5年「なごごて腹んだつ」
- 6年「差別落書きはゆるさんぞ」

お願い(車の出入り口)です

大雨の際の、児童の送迎は大変お世話になっております。以前もお知らせしましたが、**車の出入りについては、「東側入口から入って、正門から出ていく」**ようにお願いしたいと思っております。また、**児童がいる際は、最徐行(すぐ止まれる速さ)**もよろしくお願いいたします。



